

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 31日

事業所名 ひまわりはうす

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	法令に従って十分な訓練スペースを確保しています。活動内容に合わせて十分な訓練が行えるよう環境設定を行っています。	
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%	法令に従って職員の人員配置を行っています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	室内はバリアフリー化されています。活動スペース、静養室、勉強部屋等、各部屋を設けており、シンプルで分かりやすい環境になっています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	こまめに清掃を行い、清潔を保っています。課題や活動内容に応じて必要な物を出し入れする等、適した環境を作っています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	90%	10%	日々、職員間で情報を共有しています。定期的に職員会議を開き、目標設定の見直しやより良い支援を考えています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	年に一度、保護者の皆様に事業所アンケートにご協力頂き、頂いた意見を真摯に受け止め、業務改善に努めています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	50%	50%	アンケート調査結果および事業所の自己評価表はホームページで公表しています。	ホームページで公開していることを知らないスタッフが半数いたため、把握しておくよう伝えていく必要がある。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	60%	40%	第三者による外部評価は行っていません。	必要性があれば検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	50%	50%	毎月、職員会議を行い、外部研修などにも積極的に参加し、知識を広げ学ぶ機会を設けています。	研修の頻度を増やしていく。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	お子様の成長・発達に応じてアセスメントを行い、お子様や保護者様のニーズを把握し、支援計画を作成します。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	事業所で作成したアセスメントツールを使用しています。主にお子様や保護者様の要望を中心にアセスメントしています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	ガイドラインに沿い、発達支援(本人支援及び移行支援)、家族支援、地域支援をバランスよく、明確に記載できるよう書式を修正していきます。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	児童発達支援計画を基に個別療育、集団療育のプログラムを立案し個々に合わせた支援を行っています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	支援にあたる職員で意見を出し合い、より好ましいプログラムを立案していきます。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	活動予定の曜日固定は、習慣付けることの必要性和、子供たちの見通しが立つようと考えております。曜日固定のご利用でもご希望に沿った活動も取り組めるよう心掛けて参ります。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	特性や発達状況に応じて、個別活動と集団活動のバランスを考えて計画を立てています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	70%	30%	主担当の職員を中心にその日の活動内容、動きを確認し、スムーズに支援が出来るようにしています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	70%	30%	今後の課題や改善点等を共有し、次の支援内容に生かすようにしています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	日々記録を取り、お子様の成長や環境の変化に合わせて、プログラムの改善や見直しが行えるようにしています。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	半年に一度を基本としていますが、支援の振り返りや今後の課題について保護者様と確認し、必要に応じて支援計画の見直しを行っています。	
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	担当者会議には、主に児童発達支援管理責任者が出席し、必要に応じて指導員も同行して現状報告が詳細に出来るように努めています。	
22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	必要に応じて、保育園や幼稚園、地域の専門機関との情報共有や相談を行い、適切な支援が行えるように努めています。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	70%	30%	医療的ケアが必要なお子様や重症心身障害のあるお子様の利用はありません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	30%	70%	医療的ケアが必要なお子様や重症心身障害のあるお子様の利用はありません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	保護者様を通じて、支援内容の情報共有と相互理解を図っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	保護者様を通じて、支援内容の情報共有と相互理解を図っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	事業者向けの研修等には出来る限り出席し、助言や研修を受け、支援に生かしていくよう努めています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	100%	必要性があれば検討していきます。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	100%	0%	地域の自立支援協議会には参加していませんが、福祉連絡会には参加し、地域の困りごとを他の事業所の方と一緒に協議しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	保護者様とは連絡帳や送迎時にお話しをさせて頂き、共通理解のもと支援が行えるように努めています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%	0%	ニーズに合わせて検討していきます。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	70%	30%	契約時に規定を明確に提示し、利用者負担等についても説明を行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	発達支援、家族支援をバランス良く明確に記載した児童発達支援計画を説明し、同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	保護者様からの相談にはその都度対応しています。必要に応じて、日時を改め時間を設け、助言と支援を行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	定期的にはひまわりカフェを開催していましたが、現在コロナの影響で行っていません。	コロナが落ち着けば再開予定です。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	いつでも相談して頂ける関係・環境を作るようにしています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	少しずつブログの更新に努めています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	契約時にお約束している通り、職員一同研修を重ね、十分に気を付けるよう徹底しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	一人一人の状況に応じて、よりわかりやすく親切な対応を考え工夫しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%	地域住民の方を招待できる活動はありませんが、老人福祉施設の方との交流会を実施しています。	現在、コロナの影響で行っていません。コロナが落ち着けば再開予定です。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	マニュアルを策定し、職員に周知するとともに、発生を想定した訓練や研修を行っています。事業所内にマニュアルを設置し、保護者様にはいつでもお読みして頂けるようにしています。	
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	想定災害に応じた避難訓練を実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	100%	0%	契約時にアレルギーの有無や服薬中のお薬等、お子様の状況を確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	契約時にアレルギーの有無や服薬中のお薬等、お子様の状況を確認しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	定期的にミーティングや職員会議を開き、職員内で情報を共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	定期的にミーティングや職員会議を開き、職員内で情報を共有しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	現時点では身体拘束を行うことがないため説明は行っていないが、今後必要に応じて説明を行います。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。